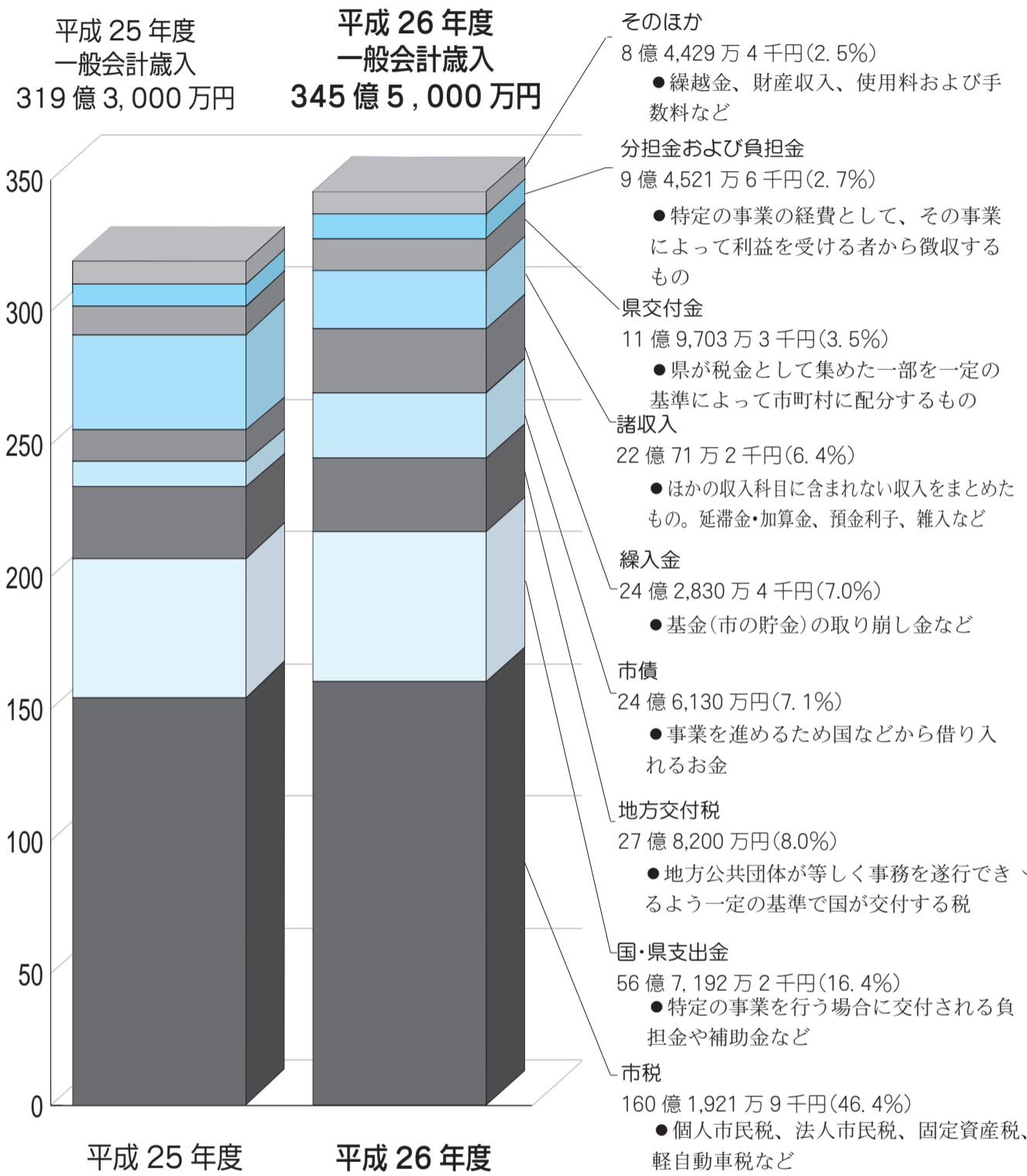


平成 26 年度当初予算

# 一般会計は 345 億 5,000 万円 予算総額は 505 億 5,968 万 4 千円



平成 26 年度当初予算が、第一回市議会定例会で可決されました。一般会計は、原案から小学校の空調設備設置工事実施設計業務委託の 2 千万円を削除する修正案が可決されました。これにより、平成 25 年度当初予算と比べ 8.2% 増の 345 億 5 千万円、これに特別会計と企業会計を加えた予算総額は 8.4% 増の 505 億 5 千万 968 万 4 千円となりました。

平成 26 年度の歳入は、法人市民税、固定資産税の増収見込みによる市税の増や、消費税の増、消費税率引き上げによる地方消費税交付金の増、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の活用による国庫支出金の増などにより、前年度に比べ増加しています。

一方、歳出は、人件費、公債費などの義務的経費は減少してはいますが、普通建設事業費は、21 住区道路・公園・小学校・地域交流館施設、児童保育施設整備事業、小林駅舎など整備推進事業などの社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)を活用した補助事業や、学校給食センター整備事業などの単独事業の増により、前年度に比べ大幅な増額(普通建設事業対前年

比 39.1% 増)となりました。なお、地方消費税の税率引上げ分による増収分については、全額社会保障費に充てられています。

政 財 課 財  
8 1 5 4 8  
3)

●将来債務残高の見込み●

区分	平成 26 年度末(見込み)
地方債現在高	20,932,452
債務負担行為未払残高	10,358,554
計	31,291,006

(単位:千円)

●性質別予算の概要●

人件費	6,187,614
扶助費	4,718,122
公債費	2,867,350
物件費	4,941,337
維持補修費	182,508
補助費等	5,052,173
積立金	21,178
投資および出資金	45,310
貸付金	25,000
繰出金	1,837,401
普通建設事業費	8,567,007
災害復旧費	5,000
予備費	100,000
合計	3,4550,000

単位:千円

収入は、給料とパート収入、親からの仕送りなどで合わせて 465 万円です。それに対して支出は、食費、医療費、ローン返済のいわゆる義務的経費で 199 万円、生活費や子どもへの仕送りなどで 176 万円、その他、家の増改築費など、合計で 500 万円です。足りない分は、ローン借入で何とかやりくりしています。

収 入	
給料(市税)	232 万円
パート収入(使用料・手数料)	4 万円
親からの仕送り(地方交付税・国庫支出金など)	146 万円
預金取崩し・利息(繰入金・財産収入など)	36 万円
雑収入(分担金、負担金・諸収入など)	47 万円
ローン借入(市債)	35 万円
合計	500 万円

支 出	
食費(人件費)	90 万円
医療費(扶助費)	68 万円
ローン返済(公債費)	41 万円
生活費(物件費・維持補修費など)	76 万円
子どもへの仕送り(繰出金・補助費など)	100 万円
家の増改築費(普通建設事業費)	124 万円
預金(積立金・貸付金・投資、出資金)	1 万円
合計	500 万円

市の財政と家計ではその仕組みは違いますが、平成 26 年度一般会計予算を分かりやすく身近な金額とするために、平成 26 年度一般会計当初予算の 345 億 5,000 万円を 500 万円の家計に例えてみました。

◆市の予算を家計におきかえると◆